

地域住民と連携した 新たな海岸林の造成について

中能登農林総合事務所森林部

はじめに

- ・ 柴垣町会から景勝地である長手島のクロマツ林の保全とあわせ、住宅地前面への防風林の造成について相談が寄せられる。
- ・ 上記を踏まえ、現地調査等を実施し、対応策の提案を行うこととした。

羽咋農林事務所 所長 様

羽咋市柴垣町19字110-1
柴垣町会 町会長 浅野



長手島等の松くい虫被害防除について

常日頃、当町会業務に対しご協力をいただき有難うございます。

標記の件、春にも10数本伐取り処理をしていただきましたが、その後また10数本が色づき元気がない松がでておりますので前回と同じくその処理をお願いいたします。

松くい虫は、長手島だけではなく、町内の庭に植えてある松も軒並み被害を受け、このままでは町内の松という松は全滅となるのかと心配しておりますが、今のところ如何ともし難いところです。

ただこの長手島の松は魚付き保安林でもあり、また地元や観光客の憩いの場所でもあり、なんとか緑を維持させたい思いがありますので、枯れた松の伐取りとこれ以上拡大しないような措置も合わせて取っていただくよう是非ともよろしくお願いいたします。



令和7年5月 柴垣町会長と打合せ

柴垣海岸の状況① (遠景)



柴垣海岸の状況② (近景)



自転車道より海側
トベラ等の低木性の灌木類が繁茂



自転車道より山側
クロマツがほぼ全滅し、エノキやアカメガシワ等の広葉樹が散在

現地調査の結果①

令和7年7月 現地調査

1. 残存クロマツ林の状況

林齢 40～60年生

立木密度 約100本/ha (※林冠高が10m程度の場合の理想は1,055本/ha)

胸高直径 平均22.6cm 最大 36cm 最小 4cm

樹高 平均11.4m 最大18m 最小3m



現地調査の結果②

令和7年9月 現地調査

2. 現地で確認された、クロマツ以外の樹木

エノキ、アカメガシワ、ヤツデ、ヌルデ、カスミザクラ、トベラ、シャリンバイ、ハンノキ、ヒイラギ、ヤブニッケイ、ムクゲ、オニツルウメモドキ、ハマナシ

→エノキ、アカメガシワが多いが、樹高が最も高いものでも5m程度



エノキ



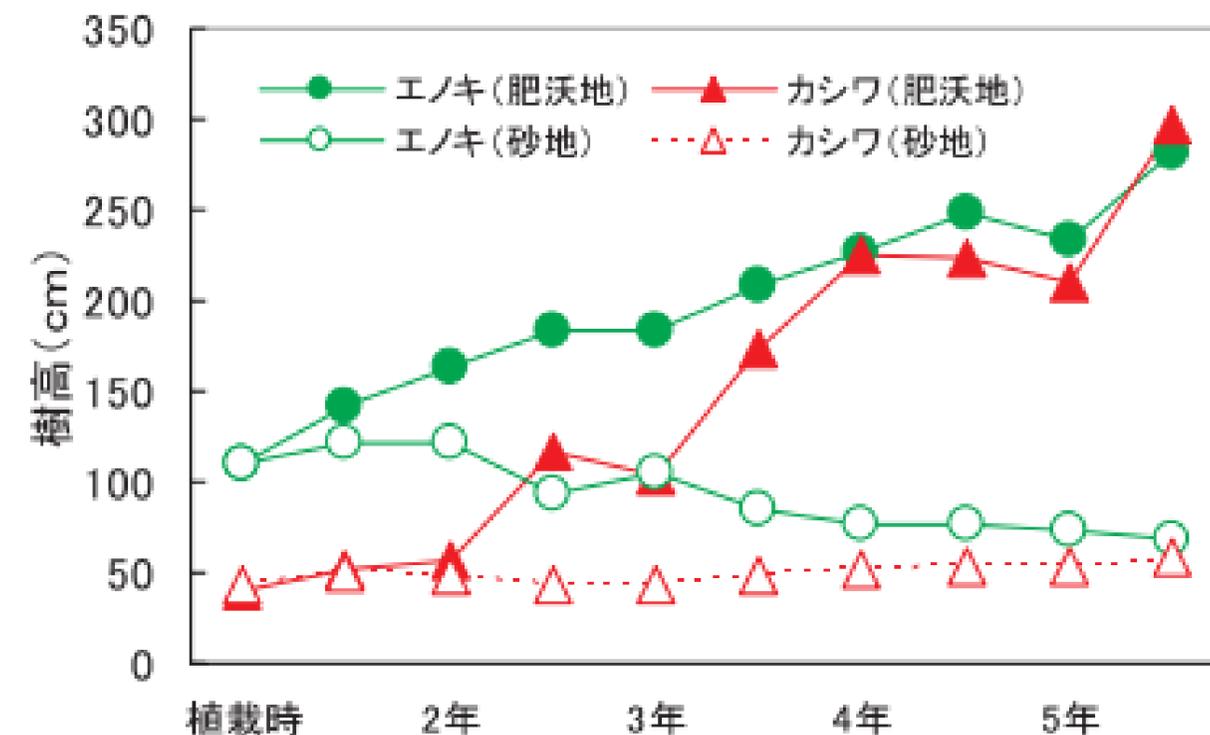
アカメガシワ

現地調査の結果③

3. 植栽樹種の検討

- ・ 林業試験場の既往の知見や治山事業での実績等を踏まえると、**エノキ、カシワが有望**
- ・ 一方で、現地で残存しているマツの樹高が18m程度あるに対し、現地のエノキは5m程度しかなく、**より成長が早く、樹高が残存マツと同等程度となる樹種を選定し、植栽していく必要あり**

樹種	生育環境		
	潮風強 く砂地	中庸	潮風弱 く肥沃
クロマツ	◎	◎	△
エノキ、カシワ、ネムノキ	○	◎	◎
コナラ、タブノキ、モチノキ	△	○	◎
スタジイ、ウラジカシ	×	×	△



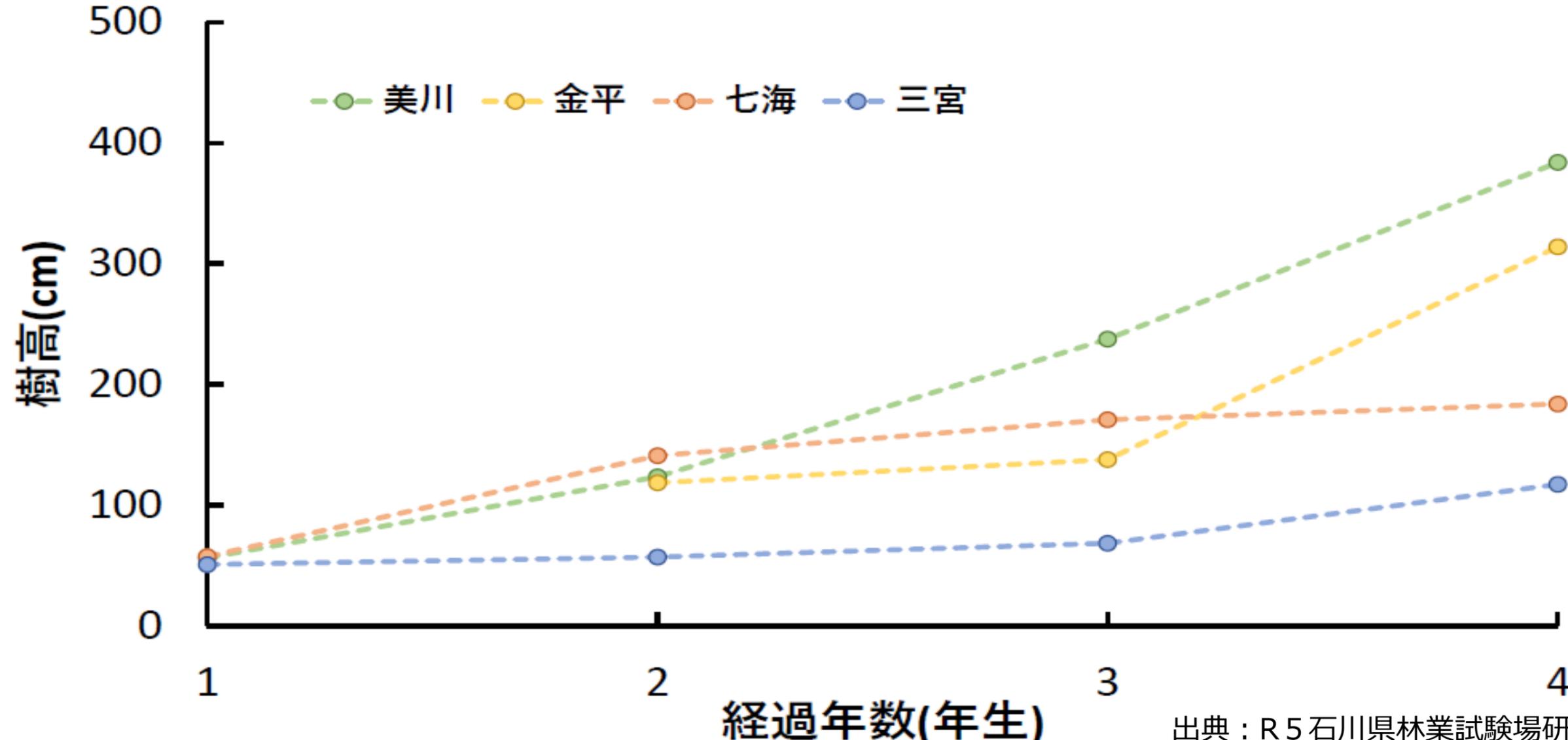
植栽候補樹種について

- ・地元では、町会の委員会で、抵抗性クロマツでも枯れてしまいうで、早く育つ樹木として、モウソウチクやツタウルシ、ニセアカシアなどの植栽を検討
- ・他県での事例や県内での試験植栽地を確認し、林業試験場と相談の上、**植栽候補樹種としてセンダンとテーダマツを選定**



選定理由（センダン）

- ・センダン科センダン属の**落葉広葉樹**
- ・伊豆半島以西の本州、四国、九州など企画的暖かい地域に分布。
- ・県内でも加賀市上木地内の海岸林等に自生。
- ・**陽樹で成長が非常に早く、樹高15~20mにまでなる。**



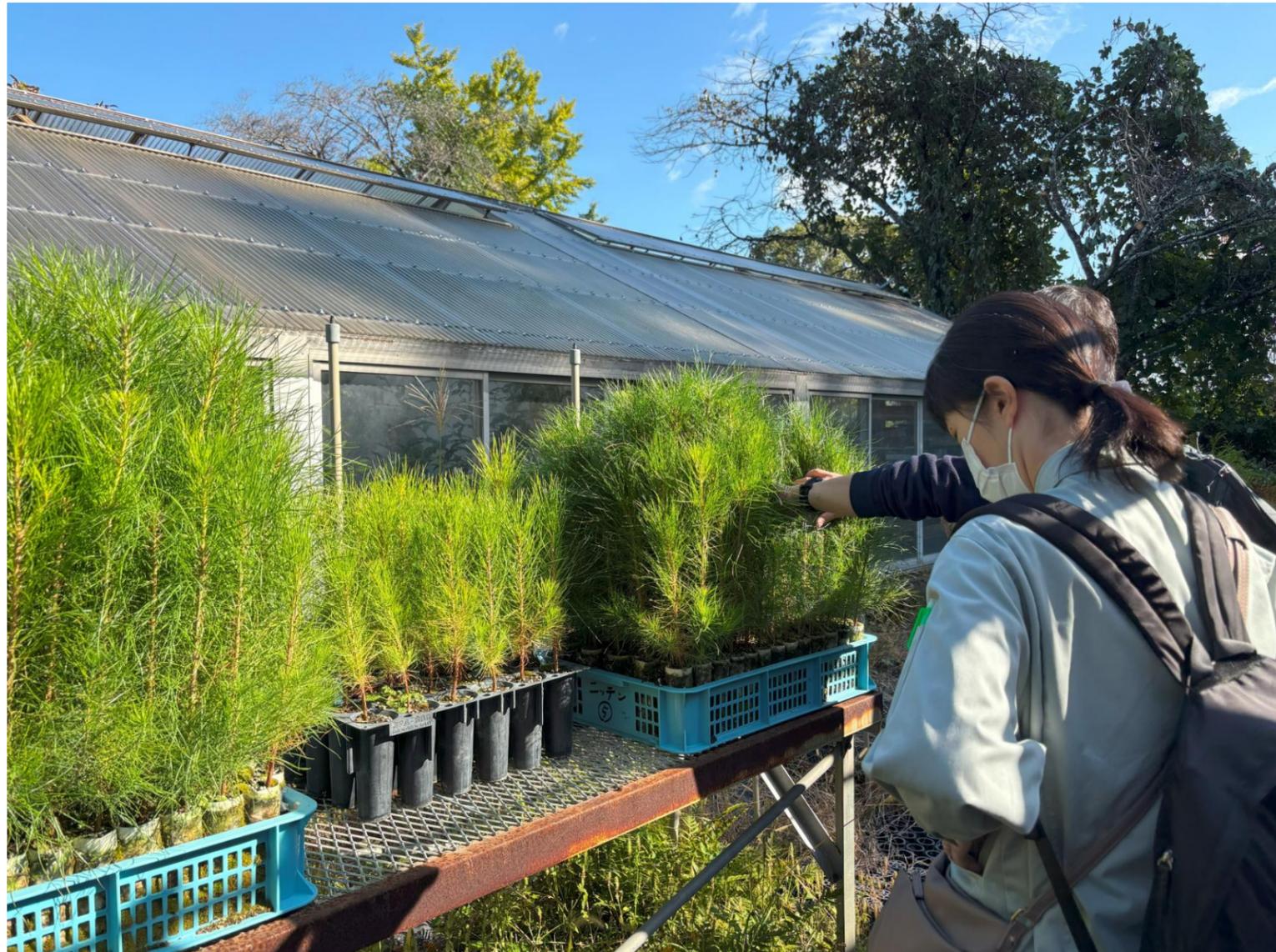
植栽後6年経過した白山市湊地内のセンダン試験林の様子 (平均樹高7m、平均直径8cm)



選定理由（テーダマツ）

- 中日本合板協会において合板用材として普及を推進中
- 北米東南部を原産とする松の一種であるが、**国内でも静岡県や兵庫県などに植林され、現存**している。
- **土壌を選ばずたいいていの環境でよく育つ上、成長が非常に早く、樹高は最大で30m**を超える。
- マツの仲間であっても、松くい虫の病原体（線虫）を接種しても枯れなかったという実験結果もあり、**松くい虫に耐性がある可能性が高い**。

林業試験場の職員とともに、テーダマツの植栽試験を先に実施している静岡県に赴き、苗木の育成状況や、造林木の生育状況などを確認。



静岡県森林・林業研究センターでの苗木の育成状況



R6年度に植栽したテーダマツ
植栽後2年で2m程度となっている。

これらの調査結果等を踏まえ、柴垣町会共有地の一部に、**地域住民の協力のもと、センダン（100本）とテーダマツ（50本）を植栽することについて、柴垣町委員会にて提案し、了承を得る。**



令和7年9月27日 柴垣町会委員会

試験植栽の実施（柴垣町会共有地の一部）



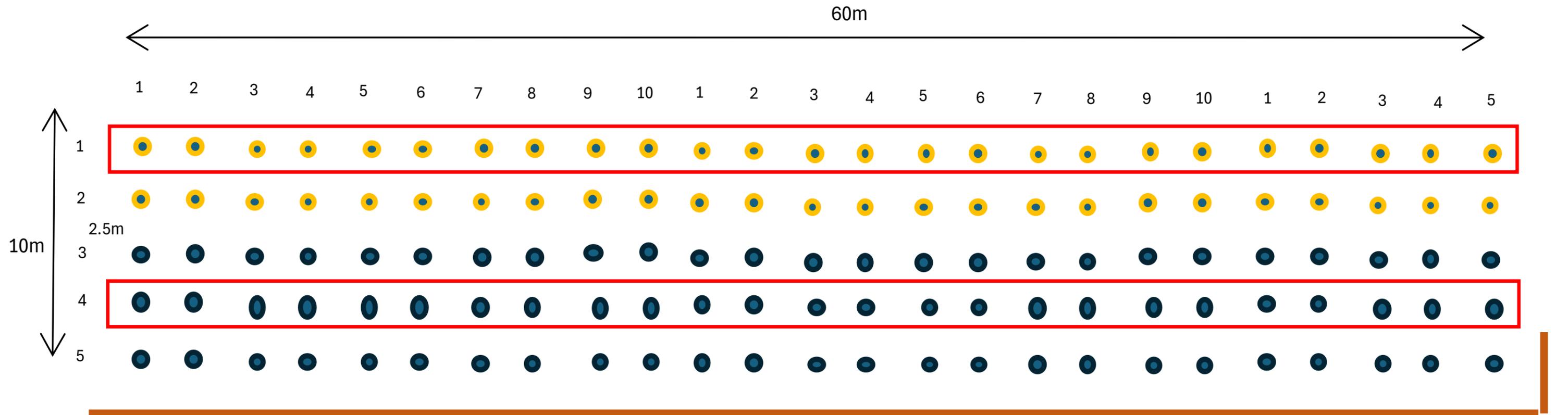
試験植栽のスケジュール

10月初旬～中旬
地拵え

10月下旬～11月下旬
植栽、防風柵設置

植栽配置図

住宅団地側



- テーダマツ
- センダン
- 春植 (3月) 部分

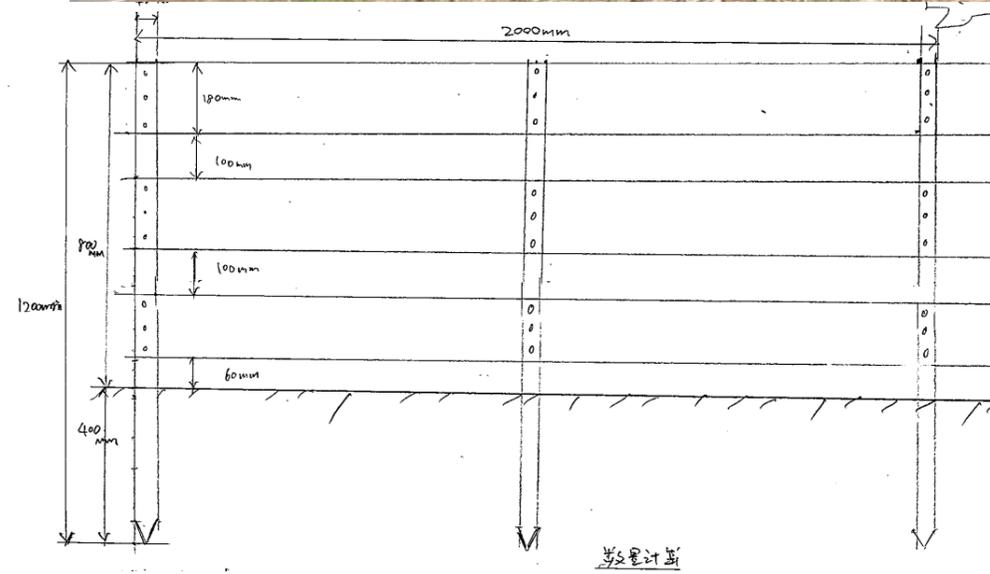
海岸側

防風柵L=60m

- ・センダン(100本)は海側、テーダマツ(50本)は山側に植栽
- ・苗木は2.5m間隔で植栽
- ・秋植(11月)と春植(3月)に分け、春植時に活着不良木の補植を予定
- ・海岸側には風の影響を軽減するため防風柵を設置

植栽時期	センダン	テーダマツ	合計
11月	75本	25本	100本
3月	25本	25本	50本





令和8年1月28日現在、枯損なし。



センダン
(冬季は根元から落葉)



テーダマツ

今後の展開

- ・ 試験植栽地の継続的な観察と下刈り等の管理を町会と共同で実施
- ・ 今回の試験植栽地の造成を契機に、羽咋市の補助事業を活用し、町会自らも周辺部の海岸林再生への取り組みを開始。

→令和6年能登半島地震にかかる羽咋市地域コミュニティ活動支援補助金の活用を想定
事業期間：R7～R9 予算額 2,300千円（3ヶ年分）

- ・ 上記にあたり、要請に応じ、苗木の調達や植栽等の支援を行う予定。

